



夢に生きたん

Takeokadai High School

1・2年生用

進路指導部

第 8 号

発行日 R5. 2. 27 (月)

学習実態調査を終えて



1月17日～23日の期間に学習実態調査を行いました。

以下にその結果を示してあります。このデータ及び分析をみなさんはどのように感じ、どのように考えますか？

1週間の宅習時間の合計

1年

2年

	36期		35期	34期
	今回	9月	1月	1月
国語	1:58	2:17	2:35	3:31
数学	4:47	5:13	4:21	4:26
英語	5:12	4:33	4:09	4:27
理科	0:21	0:45	0:16	0:17
地公	1:00	1:04	0:35	0:34
商業	4:13	3:25	0:59	2:45
工業	2:57	4:25	0:28	0:43
合計	14:35	14:50	12:11	13:52

	35期		34期	33期
	今回	9月	1月	1月
国語	2:32	2:28	1:56	2:03
数学	3:20	3:41	3:16	3:40
英語	3:17	3:35	4:44	6:17
理科	1:32	1:09	1:36	1:54
地公	0:38	0:52	0:52	0:45
商業	9:26	2:32	9:15	8:26
工業	1:24	2:19	0:11	0:38
合計	13:05	12:44	13:53	16:05

平日 1:41
土曜日 2:49
日曜日 3:16

平日 1:34
土曜日 2:38
日曜日 2:36

結果と分析

1年生は、宅習時間の合計が35期生と比較して2時間24分増加し、34期生と比較しても約1時間増加しました。しかし、2学期より若干減少しています。教科別では、英語、商・工業が増加し、数学、理科が減少しています。1年生の目標とする1週間の自宅学習時間は、17時間ですので、目標に達していません。十分な予習・復習がなされず、結果的にその場限りの非効率な学習になっているのではないかと懸念されます。

2年生は、宅習時間の合計は、2学期より微増はしていますが、34期生と比較して約50分減少し、33期生と比較しても3時間減少しました。平日、休日ともに減少傾向です。2年生の目標とする1週間の自宅学習時間は、20時間ですので、大きく目標に達していません。

1, 2年ともに部活動加入者が多く、部活動に積極的に取り組むことは良いことですが、帰宅後の過ごし方を改善しなければならない生徒が少なくないと思います。平日の宅習目標時間の合計を再度見直し、「学習の軌跡」で計画を立てて時間を捻出しましょう。

2年生には、一年後の「大学入学共通テスト」を意識して、毎日の宅習時間をきちんと確保し、これまで以上に計画的に各教科宅習(特に、基礎基本の徹底)する必要があると思います。

問. 受験はいつまで? — 答. 合格通知を手にするまで!!

先週、2月25日(土)は国公立大学の前期日程の記述試験日でした。(※大学によっては26日(日)まで)

今年度は147人が出願し、北は関東圏から南は沖縄県まで、まさしく全国区で受験にチャレンジしています。次は皆さんの番です。「大学入学共通テスト」へ向けて、「千里の道も一歩から!」の言葉のとおり、心新たに始動しましょう!!

さて、前期日程試験を終えて2月28日(火)に卒業式を控えるなか、3月8日(水)の中期日程および3月12日(日)の後期日程の受験を出願した人は、休む間もなく次なる受験に向けて取り組んでいます。

なぜ? まだ受験勉強を? — 例年、3月5日~10日を中心に前期日程試験の合否通知が行われるので、**前期試験の合否を待ちながら、次の受験に備えているのです。**

卒業しても国公立大学を目指す先輩たちが学校に来る姿を頻繁に目にするのは、まだ「受験」が終わっていないからです。**合格通知を手にするまで「受験」は完了しない、**ということなのです!!

今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。

~稲盛和夫(京セラ, KDDIの創業者, 鹿児島市出身)~

⇒3年生になってから頑張るのではなく、1・2年時の毎日の授業を大切に!

やる気をだす方法

3年生を卒業式で送り出すと、高校入試のために自宅学習期間(3月1日午後~9日)に入ります。昔の人が言ったように「2月は逃げる, 3月は去る」。この言葉のように、この1ヶ月はあっという間に過ぎていきます。この期間に皆さんは、過ぎ去る日々をなんとなく過ごしていいのでしょうか。意味のある時間の使い方をしてみませんか。なかなかやる気が出ないかもしれません。テレビのCMで見るように、皆さんの背中に「やる気スイッチ」があって、それをオンにするだけで勉強をし始めれば、こんな簡単なことはありません。やる気がおきない時、こんな方法はどうでしょうか。

- ①環境を変えてみる。(スマホを遠ざける, 部屋を居心地良くする, 家以外で自習する)
- ②無理矢理勉強を始めてしまう。(始める時間を固定する)
- ③家に帰ってからのルーティンをつくる。
- ④勉強の目標は細かく区切る。(1日の目標, 30分の勉強でする目標など)
- ⑤勉強する科目をローテーション化する。
- ⑥春休みにとにかく苦手科目を意識して行う。

今やれていないのであれば、例で示した方法を試してみてはどうでしょうか。まず、行動しましょう。時間をとれる新学期までの間がチャンスです。

平日の宅習が伸びない原因のひとつとしてスマホやインターネットがあげられます。一日の使用時間が30～60分の方は、1年生で40.4%、2年生で40.1%ですが、60分以上の方も1年生で51.3%、2年生で54.4%います。スマホやインターネットの使用時間を制限することで有効に使える時間が生まれるはずですが。

「大学入学共通テスト」の難化により、33期の努力が報われず苦戦しました。